

# 令和6年度 第4回 豊田市猿投地域会議 会議録

開催日時	令和6年8月22日(木)	開会	閉会
		午後7時	午後7時58分
会場	猿投北交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：13人		
	会長：田中 則夫 副会長：森田 裕子		
	委員：池田 利雄 梅村 和也 梅村 基 近藤 隆光		
	近田 新平 近田 孝子 辻 直樹 林 邦夫 益田 千恵子 宮川 和正 吉田 幸正		
欠席者	4名(大澤 正利 木村 久光 爾見 富子 林 美樹)		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、梅村副支所長、岩村主事		
	1 豊田市民の誓い(唱和) 2 会長あいさつ 3 令和7年度以降の地域課題解決事業について 4 わくわく事業現場確認について 5 情報共有・事務連絡		

## ■議事(要約)

### 3 令和7年度以降の地域課題解決事業について

#### (1) 事業計画書について

・事務局が資料に基づき説明

<意見、質問>

委員：成果指標・目標値の記載で「マルシェを一回以上開催」は年単位ということか。

事務局：事業期間(2025年~2027年)で1回以上の想定である。

委員：わかりやすくするため、事業期間の目標値であることを表記するほうがいいのではないか。

事務局：誤解のないよう記載方法を修正する。

委員：事業内容の記載で、「出店者等へのヒアリング」と記載があるが、この書き方では出店が決まっている人(団体)にヒアリングするようなニュアンスにとれるので、誤解のないよう記載した方がよいのではないか。

事務局：誤解のないよう記載方法を修正する。

#### (2) さなげふれあいマルシェ開催詳細等について

・事務局が前回グループワークでの検討結果をもとに、開催詳細や開催場所候補について説明した。また、マルシェの開催形態について、市内で行われている産直市場、軽トラ市、ストリート&パークマーケットの事例を説明した。

(3) マルシェ検討委員会のメンバーについて

- ・想定するマルシェ検討委員会のメンバーについて、個人ワークを行った。

#### 4 わくわく事業現場確認について

さなげの里見守りの会

乙部町まちづくり委員会

猿投町まちづくり協議会

上記団体の活動状況を事務局より報告

(意見交換)

委員：猿投町まちづくり協議会の活動に参加しているが、親子で参加することで学びも深まり有意義だと思っている。

委員：活動した日は39.1℃を記録した日で、参加した自分自身もなんとか熱中症にならずに助かった。

委員：猿投町まちづくり協議会についてお聞きしたい。募集方法はどのようにやっているのか。

委員：こども会を通じて募集を行っている。鮎の放流や塩焼きの試食は、わくわく事業ではない取組。

事務局：補足だが、鮎は平戸橋町の矢作川漁協でどなたでも購入できるので、機会があればご利用いただきたい。

#### 5 情報共有・事務連絡

委員：猿投棒の手保存会会長より連絡があり、今年は30年ぶりに猿投大祭の記録を撮影するので、ぜひ観客として地域の方に参加頂きたいということでした。

委員：10月12日(土)試楽、13日(日)本楽だが、餅投げもあるのでぜひ、委員の皆さんもお越し頂きたい。

委員：区長会でも依頼していく予定と聞いている。

(次回の予定)

日時：令和6年9月26日(木)午後7時から

場所：猿投北交流館1階 多目的ホール